

ちきゅうおんだんか 地球温暖化について知ろう

解説 ※1

もし温室効果ガスがなかったら、地球の平均気温は-19℃くらいになると言われています。

温室効果ガスがあるおかげで私たちが生きていくためにちょうどいい気温(約14℃)になっています。

出典：全国地球温暖化防止活動推進センター ホームページ

豆知識

温室効果ガスの名前の由来

地球が温められる現象が、野菜や果物を作るための温室(ビニールハウス)に似ているため、「温室効果ガス」と呼びます。



地球温暖化って何だろう?

地球温暖化とは、**二酸化炭素などの温室効果ガスが増えすぎること**で地球全体の温度が上がってしまうことです。

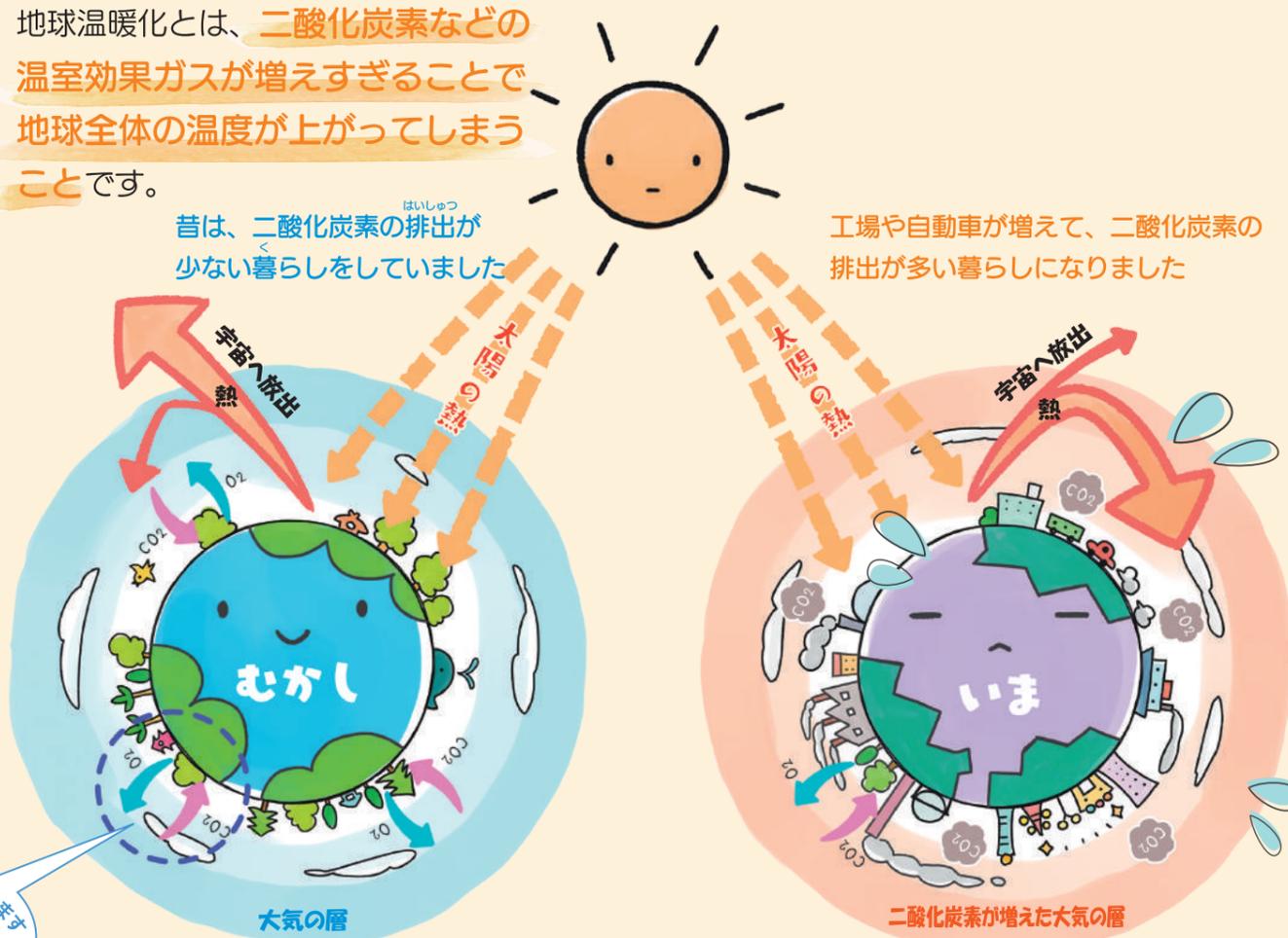
昔は、二酸化炭素の排出が**少ない暮らし**をしていました

工場や自動車が増えて、二酸化炭素の**排出が多い暮らし**になりました

昔は木や草などの植物が吸収する二酸化炭素と人間が排出する二酸化炭素のバランスがとれていたんだね。



木や草はCO₂を吸収し、O₂を出しています
O₂=酸素
CO₂=二酸化炭素



今は、二酸化炭素の排出が増え、森林などの植物が減ったことで、植物が吸収できないくらいたくさんの二酸化炭素を出しているんだね。二酸化炭素の排出量と吸収量のバランスがとれなくなっているんだ。



出典：こども環境白書 2016 (環境省) をもとに作成

豆知識

温室効果ガスの観測方法

温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)で宇宙から観測しています。



出典：宇宙航空研究開発機構 (JAXA) ホームページ

ステップアップ①

世界各国の二酸化炭素排出量(2019年時点)

日本の二酸化炭素排出量は、世界全体の約3%(世界第5位)となっています。世界では、どの国が二酸化炭素を多く排出しているか調べてみよう。

1位

2位

3位

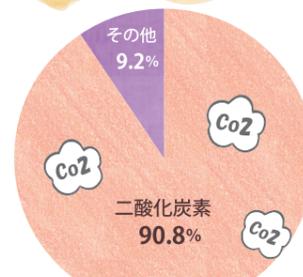
出典：全国地球温暖化防止活動推進センター ホームページ

温室効果ガスってなに?

温室効果ガスとは、**地球の表面から出る熱を吸収して、地球の温度を保つ働きを持った気体**のことで、増えすぎると、余分な熱が地球に残ってしまいます。(※1)
温室効果ガス排出量の中で一番多いのは**二酸化炭素**で、**日本では90%以上を占めています**。(2020年時点)

「むかし」の地球と「いま」の地球の絵を比べて、何が変わっているかな?気づいたことを書いてみよう

日本における温室効果ガス排出量の割合 [2020年度]



出典：日本の温室効果ガス排出量データ (温室効果ガスインベントリオフィス) をもとに作成

地球温暖化を止めるためには、**二酸化炭素の排出を減らすことが大事**なんだね。

